

【理数科1年】野外実習に行ってきました。

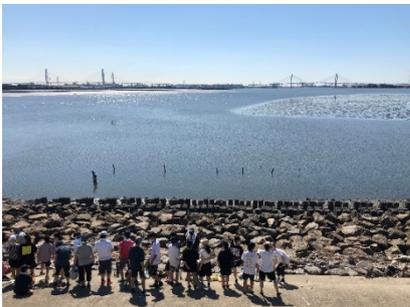
10月15日（木）に、理数科1年生が藤前干潟及び南濃町での研修を行いました。

この研修は、野外での観察・実習を通して、科学的に思考する方法を学ぶとともに、次期学習指導要領で求められている「持続可能な社会の構築に向けた環境教育の充実」（学習指導要領の「理科」（理数科を含む）改善の基本方針）を踏まえ、自己と自然との関わりを見つめる機会とし、将来、社会に貢献できる科学系人材として求められる自然観を身に付けることを目的とするものです。

藤前干潟（藤前活動センター・その周辺の干潟）



【事前指導】藤前干潟の歴史や、干潟の役割について学びました。



【干潟での活動】干潟に住む生物を探します。ガイドさんから解説も聞きました。



【事後指導】採ってきた生物について解説を聞きました。大きな蟹も捕まえました。

海津市南濃町（巨石堰堤・マンボ・羽沢貝塚）



【羽沢貝塚を見学】



【羽根谷だんだん公園】



【砂防ダム】ダムの上を歩きました。



【広がる濃尾平野を望む】



【濃尾平野】



【デレーケ堰堤の上】



【デレーケ堰堤の上から】



【土砂災害の保護林の説明】

10月19日(月)の探究の時間に、班ごとに研修の内容をまとめたポスターを作成しました。

生徒感想

- 自分が思っている以上に干潟は日常生活に関係していることが分かりました。また、巨石堰堤についても、行く前よりも知識を広げられたので良かったです。
- 私が一番印象に残ったことは、巨石堰堤です。昭和や平成の時代のものはコンクリート製でそんなに驚くことはなかったけれど、明治のものは石積で、それが人の手によって成されているということに驚きました。
- 人生で初めて干潟に入って、普段はなかなか見ることのできない生物を観察することができて良かったです。帰ってからは、班で協力してわかりやすいポスターを作ることができました。
- 特に藤前干潟での体験は、海にいる生物や干潟の雰囲気、匂いまでいろいろなことを肌で感じることができ、とても貴重な機会だった。
- 海なし県に住んでいる私にとって干潟に行くことはとても新鮮でした。このことは岐山の理数科の生徒にしか経験できない貴重な体験なのでこれからも続けていってほしいと思いました。